

大谷大学大学院 研究紀要

第 36 号

-
- その身を後にして先とする …………… 池 田 向 一 … 1
— 『浄土論註』における善巧摂化とは何か—
- 親鸞における「応化身」の領解 …………… 岩 田 香 英 … 33
- 親鸞思想における「乃至一念」の意義 …………… 常 塚 勇 哲 … 65
— 「相統」への展開を踏まえて—
- 親鸞における「真門」の課題 …………… 樋 口 大 慈 … 99
— 仏智疑惑と願海転入—
- 親鸞の往生観 …………… 村 上 無 量 …131
— 難思議往生を中心に—
- 『大智度論』における不退転と魔について …………… 澤 崎 瑞 央 …163
- モンゴル語訳ツォンカパ全集の二つの版 …………… ARILDII BURMAA … 1
-

2 0 1 9

大谷大学大学院

RESEARCH REPORT OF THE GRADUATE SCHOOL OF OTANI UNIVERSITY

No.36

December 2019

CONTENTS

In Putting Oneself Last, One Is in the Fore: What Is “Grasping and Guiding by Skillful Means” in the <i>Jingtu lunzhu</i> ?IKEDA Kōichi (1)
Shinran’s Understanding of the “Transformed Bodies of Buddhas (<i>Ōgeshin</i>)”IWATA Kōei (33)
The Significance of “ <i>Naishi Ichinen</i> ” in Shinran’s Thought: Based on the Development of “Continuing”TSUNEZUKA Yūtetsu (65)
Problems of the “True Gate” in Shinran: Doubt of the Buddha’s Wisdom and Entry into the Sea of the VowHIGUCHI Daiji (99)
Shinran’s Understanding of Birth in the Pure Land: Focusing on the “Inconceivable Birth” (<i>Nanshigijōjō</i>)MURAKAMI Muryō (131)
<i>avinivartanīya</i> and <i>māra</i> in the <i>Mahāprajñāpāramitā-śāstra</i>SAWAZAKI Zuiyō (163)
Two Editions of the Mongolian Translation of Tsong-kha-pa’s Complete WorksARILDII Burmaa (1)

THE GRADUATE SCHOOL OF
OTANI UNIVERSITY
KYOTO

執筆者紹介

氏名	専攻	発表論文
池田 向一	真宗学	即非の浄土―鈴木大拙の浄土教観―（『大谷大學研究年報』第六十五集）
岩田 香英	真宗学	還相回向―親鸞における利他の課題― （修士論文）
常塚 勇哲	真宗学	親鸞思想における「十念」の意義（『印度學佛教學研究』第六十七卷第一号）
樋口 大慈	真宗学	「報化二土正弁立」―親鸞の源信観推考―（『真宗教学研究』第三十九号）
村上 無量	真宗学	『教行信証』「行卷」所引『十住毘婆沙論』に見る親鸞の龍樹観―「入初地品」を中心に―（『真宗研究』第六十三輯）
澤崎 瑞央	仏教学	『大智度論』における魔の役割 （修士論文）
ARRILDAI BURMAA	国際文化	サキヤ・パンディタ著の『サキヤ・レクシエ』の仏教思想 （修士論文）

文学研究科
博士後期課程
第二学年

文学研究科
博士後期課程
第三学年

文学研究科
博士後期課程
第三学年

文学研究科
博士後期課程
第三学年

文学研究科
博士後期課程
第三学年

文学研究科
博士後期課程
第三学年

編集後記

『大谷大学大学院研究紀要』は大谷大学大学院博士後期課程の学生が研究成果を広く社会に問う場として、特別な重要性をもっています。学生が課程在学中に掲載することのできる論文は一本のみ。本紀要掲載（または掲載見込み）論文のあることが、本学大学院に課程博士の学位請求論文を提出する際の必要条件となります。年一回の刊行を重ね、本号で第三十六号となりました。今回の投稿は七本、指導教員の指導に加え、指導教員以外の査読委員の厳正な審査を経て、ここに公表されることとなりました。執筆者本人の努力に敬意を表するとともに、指導教員および査読等ご尽力いただきました関係方々に心より感謝申し上げます。さらにこの研究が課程博士論文として実を結ぶことを願ってやみません。

大谷大学大学院文学研究科長

滝口直子

二〇一九年十二月一日発行

大谷大学大学院研究紀要 第三十六号

編集兼
発行者

大谷大学大学院
代表 滝口直子

発行所 大谷大学

〒六〇三七八一四三

京都市北区小山上総町

TEL〇七五四三三三三二代